

新冠ライオンズクラブが ランドセルカバーを寄贈



3月5日、新冠ライオンズクラブ（長浜秋二会長）が教育委員会を訪れ、夜光反射テープが貼られたランドセルカバーを贈呈しました。この寄贈は毎年行っており、長浜会長は「子どもたちが交通事故に気を付けて、楽しく学校に通ってほしい」と話し、受け取った奥村教育長は「子どもたちの交通安全のために新1年生に配布します」と感謝しました。

エスフーズ㈱に紺綬褒章

一昨年12月に町へ多額の寄附



このたび、エスフーズ㈱（村上真之助社長）が紺綬褒章を授与され、3月8日に伝達されました。紺綬褒章は、公益のために私財を寄附した方が対象で、一昨年12月に多額の財産を寄附した功績が認められました。伝達を受け出田純治取締役は、「日高食肉センターを開設し、地域にお世話になっている。これからもよろしくお願ひします」と話されました。

昭和山国際雪合戦で 新冠チームが準優勝

新冠チームが準優勝



2月24日・25日の2日間、壮瞥町で行われた「第35回昭和山国際雪合戦」において「N.A.T」がレディースの部で準優勝に輝きました。「N.A.T」は「新冠・宇・太陽」の略で、平成23年に太陽若妻会でチームを結成したのが始まりになります。代表の佐々木直子さんは「決勝戦でのみ使われるセンターコートに立つことができた」と話し、監督を務める山本将之さんは「全員が試合で勝つために必要な役割を果たしていた」と振り返りました。

町商工会女性部が 交通安全を願い愛の鈴を寄贈

交通安全を願い愛の鈴を寄贈



3月18日、町商工会女性部（西村悦子部長）が教育委員会を訪れ、「交通安全・愛の鈴」を贈呈しました。この鈴は、新入学児童の無事故を願い、商工会女性部が毎年手作りしているもので、神社でお祓いを受けた後に届けられました。奥村教育長は「毎年ありがとうございます。子どもたちが鈴をつけて元気に登校してほしい」と感謝しました。

故・田端しづゑさんに紺綬褒章

一昨年10月に町へ多額の寄附



このたび、一昨年10月に新冠町と日高町に多額の財産を寄附した故・田端しづゑさん（日高町美原）に紺綬褒章が授与され、3月22日に伝達されました。受章に際し、ご遺族の土居克子さんは「思い入れのある両町に対する寄附は母の生前の念願であった。このような名誉ある褒章と木杯を賜り、母も喜んでいらっしゃる」と話されました。

ま ち の 話 題

あれこれ

朝日小学校最終日に 保護者が集会を開催

保護者が集会を開催



朝日小学校の最終登校日となる3月22日に「ありがとう朝日小学校集會」が開かれました。これは「最後にもう1度、子ども達を朝日小学校で遊ばせたい」「感謝の言葉を伝えたい」との思いから保護者が企画したもので、集会には教職員・児童・保護者のほか、卒業生、地域の大人など144名が参加しました。集会では児童対象の校内宝探しや動画上映のほか、先生たちに朝日小学校卒業証書を授与するなどのサプライズ企画もあり、参加者全員で朝日小学校の最後の日を楽しみました。

町社会福祉協議会が 災害に備える講演会を開催

災害に備える講演会を開催



3月13日、町社会福祉協議会は「自分のできる備えとは」と題し、ピースボード災害支援センターを講師に招き、福祉講演会を開催しました。同センターは、国内発生の災害被災地で支援を行っており、講演会では、これまで支援してきた避難所でのお話しを基に「おいしい非常食や時間をつぶすものをぜひ準備してください」と被災現場の声を教えてくれました。

朝日駐在所との統廃合のため 泉駐在所閉所式を挙る

泉駐在所閉所式を挙る



3月18日、泉駐在所閉所式が執り行われました。泉駐在所は昭和27年4月に設置されてから72年間、地域治安の拠点となっていました。令和5年度をもって閉所となります。千葉則幸内警察署長は「泉駐在所は今年度で閉所しますが、朝日駐在所を1名増員して地域の治安を維持します。引き続き皆さまのご協力をお願いします。」と謝辞を述べました。

字高江の谷口貞保さんが 北海道社会貢献賞を受賞

北海道社会貢献賞を受賞



谷口貞保さんが「北海道社会貢献賞」を受賞され、3月25日に役場会議室で鳴海町長より表彰状が伝達されました。このたびの受賞は、平成20年4月から町交通安全協会の会長として交通安全実践団体のために尽力をしたことに対するもので、谷口さんは「自分が受賞するとは思っていません。とても光栄に思います」と話されました。

ホクレン農業協同組合連合会が 企業版ふるさと納税で100万円寄附

企業版ふるさと納税で100万円寄附



3月25日、札幌市のホクレン農業協同組合連合会（篠原末治代表理事会長）より、当町が掲げる「産業振興の活性化によるまちづくり事業」に対し、100万円の寄附をいただきました。寄附は前年度に続き2年連続となります。庄司実苦小牧支所長は、「町の取組みに賛同し寄附しました。私たちも農協や農家さんに寄り添いながら頑張りたい」と話されました。